

平成 29 年第 10 回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成 29 年 8 月 25 日（金）午後 1 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 応接室
- 3 出席者 長谷川教育長、長沼委員、坂爪委員、渡辺委員、小林委員
- 4 説明のための出席者
栗山教育部長、遠藤教育総務課長、栗林子育て支援課長、
高橋小中一貫教育推進課長、吉川教育センター長、金子生涯学習課長、
渋谷教育総務課課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認
平成 29 年第 9 回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報告
報第 1 号 平成 29 年度第 1 回三条市図書館協議会会議録について
 - (3) 議事
議第 1 号 平成 29 年度三条市一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
議第 2 号 平成 29 年度教育に関する事務の点検及び評価について
 - (4) その他
ア 平成 29 年度教育委員の行政視察について
イ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認について
長谷川教育長から平成 29 年第 9 回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 報告
報第 1 号 平成 29 年度第 1 回三条市図書館協議会会議録について
金子生涯学習課長が説明
(小林委員)
旧三条小学校の跡地に図書館ができることを僕は知らなかったんですけども、新聞等で相当オープンになっている話ですか。
(金子生涯学習課長)
旧三条小学校の跡地につきましては、施政方針でも図書館、鍛冶ミュージアム、理科

教育センター機能を有した新たな複合施設の整備に向けた検討を進めて行くこととしております。

(小林委員)

そうするとまだ、今の図書館機能を全部移すことが決まっていない状態で、これから検討するというイメージですか。

(金子生涯学習課長)

今の図書館が移転する形での検討になるかと思います。

(長谷川教育長)

ほかにございますでしょうか。

無いようですので、ただいまの件につきまして承らせていただきました。

(3) 議事

議第1号 平成29年度三条市一般会計補正予算（教育委員会所管分）について

遠藤教育総務課長が説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

議第2号 平成29年度教育に関する事務の点検及び評価について

遠藤教育総務課長、高橋小中一貫教育推進課長、吉川教育センター長、栗林子育て支援課長及び金子生涯学習課長が説明

(小林委員)

去年も言ったのかもしれませんが、これを読み上げるのに50分掛かっています。これは読み上げる必要があるのでしょうか。事前に資料が配られて目を通していると思うので、ポイントの説明だけでいいのではないかと思います。

DVDやカリキュラムを作って配布したというのが2、3か所ありますが、配布した物はどの程度活用されているのか、数値などで確認されているのでしょうか。

それと、最初のページに評価の一覧表がありますが、項目としては毎年一緒だと思うので、せめて2年分の評価を併記されて経時変化といいますか、去年BだったものがAになったとか、CだったものがBになったとかが分かるようにしたらいいと思います。僕ら会社などで定点観測する場合は、経過観察がポイントになるので、そのような表示をしています。

(遠藤教育総務課長)

1点目のポイントの説明だけでいいのではないかとということでございますが、事前にお配りをさせていただいていますが、できるだけ丁寧に説明させていただきたいということで、読み上げる形になってしまいましたが、ポイントだけでよろしいということで

あれば、そういった形に変えさせていただきたいと思います。

3点目の評価一覧表に経年評価をということでございますが、おっしゃるとおり経年の状況を見ていくことも大事なことだと思いますので、次回から変更する方向で検討させていただきたいと思います。

(栗林子育て支援課長)

17 ページの運動遊びにつきまして、プログラムとDVDを作成いたしました。昨年度作成して配布したところでございますので、活用については今年度からという形になります。今年度も保育所に出向いての公開講座や研修を実施している中で、数値としては捉えておりませんが、形として見えるものがあるということは、公開保育とともに役立つという声は聞いておりますが、今のところ数値としての集計はしておらないところでございます。

(長谷川教育長)

1点目の説明の方法につきまして、事務局内で打合せをしましたが、少し丁寧に御説明を申し上げようということで今回説明させていただきました。改良するところは改良しながら、分かりやすい説明に努めさせていただきたいと思います。

(小林委員)

実際、僕も後半の遺跡の部分はしっかり読んできたわけではないですが、基本的に棒読みに近い形で50分間展開されてきているので、これだったら読んでくるのは全く無駄だなと感じました。読んだ後に伝えたいポイントを言うからこそ人が発表している意義があると思いますので、発表する側はそういうところを意識してもらいたいと思います。

(長谷川教育長)

そういった形で努めたいと思います。

(渡辺委員)

それぞれの項目で非常に具体的で分かりやすい説明ありがとうございました。6つの項目に分かれて説明していただいたわけですが、これからの方向として、その評価に基づいて更に検討なされ、来年度の方向が決定されていくということで捉えていいのでしょうか。

(遠藤教育総務課長)

今ほど平成28年度における評価と今後の方針を御説明させていただいたわけですが、基本的には平成28年度の評価を踏まえた中で、今後の方針を記載させていただいているところでございます。

(坂爪委員)

12 ページの学校外における学びの機会の充実ということで、この学びの機会というのは、どの程度までの広さを含めているのか。後半は学力を中心に書かれています。今後の方針を見ますと、「部活動との両立が難しい傾向にあり、参加者が少ない。部活動を引退した3年生が参加できるように、対象を中学3年生まで広げていく。」と書いてありますので、学力という言い方をした方がいいと思います。

学びになると、例えば小学生で勉強をさせよう、あるいはスイミングに行かせよう、これは全部学びですね。民間でやっている教育活動もすごくいっぱいあります。これをどういうふうに捉えるかはすごく大事なことだと思いますが、親の理解がないと子供は活動できない。中学校も学校が終わると部活をやらないで、民間でやっている教育活動に行く子供たちも多いので、是非、そこら辺りをしっかり捉えてもらいたいと思います。民間のスイミングスクールをやっている人も経費的に大変だと思いますし、親の負担も掛かってきます。例えば小学校3・4年生で水泳の力が付いてきて、親はどんどん伸ばしてやりたいけれども、経費的に大変になるという場面もありますので、マルシェだけにこだわるのではなくて、子育てをするにはいろんな方面で活動させて、力を伸ばしてやりたいという思いで話をさせていただきました。

(吉川教育センター長)

学びと言われると確かに学習だけではなくて、子供たちにとっては様々な学びがあると考えております。

今回、三条市が行っている事務事業の中で学びのマルシェを取り上げておりますが、ほかにも一番星育成事業としては、文化・芸術・スポーツの方も行っております。今後子供たちの学びをどのように提供できるかについて考えていきたいと思っております。

(長谷川教育長)

ほかに発言はございますでしょうか。

無ければ承認することに御異議ございませんでしょうか。

無いようですので、承認と決定させていただきます。

(4) その他

ア 平成29年度教育委員の行政視察について

遠藤教育総務課長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

イ 次回教育委員会定例会の日程について

遠藤教育総務課長から提案があり、教育長が諮り次のとおり決定

〔日時〕 平成 29 年 9 月 22 日（金）午後 1 時 30 分

〔会場〕 三条市役所栄庁舎 応接室

8 閉会宣言 午後 2 時 41 分

三条市教育委員会会議規則第 38 条及び第 39 条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

教育長 長谷川 正二